



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1988, 51(3): 342-348

ISSUE DATE:

1988-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/93519>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和63年12月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第51巻 第3号

ISSN 0525-2997

vol. 51 no. 3

物性研究

1988 / 12

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ \square ”、イタリック“ — ”、ゴシック“ \sim ”、ギリシャ文字“ γ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくい o と a と 0 （ゼロ）、 u と n と r 、 c と e 、 l （エル）と 1 （イチ）、 x と \times （カケル）、 u と v 、 \dagger （ダガー）と $+$ （プラス）、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（ $13 \times 19 \text{ cm}$ ）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ \square ”、イタリック“ — ”、ゴシック“ \sim ”、ギリシャ文字“ γ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくい o と a と 0 (ゼロ)、 u と n と r 、 c と e 、 l (エル)と 1 (イチ)、 x と \times (カケル)、 u と v 、 \dagger (ダガー)と $+$ (プラス)、 ψ と ϕ と Ψ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（ $13 \times 19 \text{cm}$ ）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント案内

- 12-1 M.C. de Sousa Vieira and C. Tsallis
The Gap Road to Chaos and its Main Characteristics
- 12-2 I. Bediaga, E.M.F. Curado and E. Predazzi
Are Centauro Events a Manifestation of an Unusual
Type of Phase Transition?
- 12-3 V.M. Vorob'yev, V.M. Kuklin, I.P. Panchenko and
V.M. Chernousenko
Mechanisms Restricting the Growth of Induced
Dissipative Structures in Nonequilibrium Media
- 12-4 M.C. de Sousa Vieira and C. Tsallis
Gap Road : Main Properties
- 12-5 P. Pitanga and K.C. Mundim
Projector in Constrained Quantum Dynamics
- 12-6 Anna Chame and Constantino Tsallis
Surface Magnetization of the Ising Ferromagnet in
Semi-Infinite Cubic Lattice : Renormalization
Group Approach
- 12-7 A.P.C. Malbouisson, F.R.A. Simão and A. Ferraz de
Camargo
Some Results from a Mellin Transform Expansion for
the Heat Kernel F_0
- 12-8 S.G. Coutinho and C.R. da Silva
Spin One Ising model with Competing Interactions
on the Bethe Lattice
- 12-9 S.G. Coutinho and J.R.L. de Almeida
Spin Glass D-Vector Model on the Bethe Lattice
- 12-10 V. Drago, E. Baggio Saitovitch and M.M. Abd-
Elmeguid
Amorphous Magnetism in $M_X Sn_{1-X}$ Alloys
- 12-11 Constantino Tsallis and Anna Chame
Surface Magnetic Order and Effects of the Nature
of the Interactions

- 12-12 M.C. de Sousa Vieira and C. Tsallis
Gap Road : A New Path to Chaos
- 12-13 V.M. Chernousenko, I.V. Chernenko
Nonlinear Waves and Vortex Structures in a Fluid
- 12-14 V.M. Kuklin, I.P. Panchenko, V.M. Chernousenko
Finite Amplitude Surface Waves in Cooled Plasmas
with Smeared Interface
- 12-15 A.N. Kondratenko, I.N. Repalov, V.M. Chernousenko
Resonance Phenomena with Plasma Cluster Moving in
External Electromagnetic Fields
- 12-16 V.V. Ilyin, L.L. Jenkovszky, V.M. Khryapa, B.V.
Struminsky
Methods of Statistical Physics in Heavy Nucleus
Collision Theory
- 12-17 S.N. L'vov, V.A. Umniashkin, M.F. Golovko
The Molecular Statistical Theory of Infinite
Dilute Solutions. The Ion-Dipole Model with
Lennard-Jones Reference-System
- 12-18 M.T. Jaekel
Stochastic Quantum Langevin Equation
- 12-19 Giovanni Paladin and Sandro Vaienti
Looking at the Equilibrium Measures in Dynamical
Systems
- 12-20 Werner Krauth, Marc Mezard and Jean-Pierre Nadal
Basins of Attraction in a Perceptron-Like Neural
Network
- 12-21 L. Bottyan, B. Molnar, D.L. Nagy, I.S. Szucs, J.
Toth, J. Dengler, G. Ritter and J. Schober
Evidence for Fe^{4+} in $\text{YBa}_2(\text{Cu}_{1-x}\text{M}_x)_3\text{O}_{7-y}$
($\text{M} = {}^{57}\text{Co}, {}^{57}\text{Fe}$) by Absorption and Emission
Mussbauer Spectroscopy
- 12-22 L. Rosta
Neutron Physical Properties of a Multidisc
Velocity Selector P

- 12-23 K. Tompa, I. Bakonyi, P. Bánki, I. Furó, S. Pekker, J. Vandlik, G. Oszlányi and L. Mihály
 ^{205}Tl NMR Spin Echo Investigations in Multiphase Tl-Ba-Ca-Cu Oxide Superconductors
- 12-24 H. Kuzmany, M. Matus, E. Faulques, S. Pekker, GY. Hutiray, E. Zsoldos and L. Mihály
Oxygen Induced Phase Changes in $\text{YB}_2\text{aCu}_3\text{O}_{6+b}$
Transport, Structural and Spectroscopic Evidence
- 12-25 L. Diosi
Localized Solution of Simple Nonlinear Quantum Langevin-Equation
- 12-26 X.G. Wen
An Effective Lagrangian for Holes in Spin Liquid State
- 12-27 Gao Junming, Cui Zhan and Hao Bailin
The Knowledge-Based System Grape and its Application to Landau Theory Analysis for Magnetic Space Groups
- 12-28 A.G. Rojo, N. Kumar and C.A. Balseiro
Oscillatory Magnetoconductance of Quantum Double-Well Channels
- 12-29 Ke Wu, Lu Yu and Chuan-Jie Zhu
Topological Term of the Antiferromagnetic Heisenberg Model in 2+1 Dimension
- 12-30 Abhijit Mookerjee and Prabhat K. Thakur
The Electronic Structure of CuPd Alloys : An Augmented Space Cluster CPA Approach
- 12-31 R. Allub, C. Wiecko and A. Caro
A Simple Model for the Superconducting Phase Diagram Near the Metal-Insulator Transition
- 12-32 R. Allub
Competition Between Direct Interaction and Kondo Effect : Renormalization-Group Approach
- 12-33 Jin Jian Min and Ming Nai Ben
Stacking Fault Growth of FCC Crystal : The Monte-Carlo Simulation Approach

- 12-34 Mesbahuddin Ahmed and Abhijit Mookerjee
A Two Potential Embedding Approach to the
Electronic Structure of Disorderd Binary Alloys
- 12-35 Erio Tosatti and Yu Lu
Are Spin-Peierls Tendencies Helping Super-
conductivity?

ニュース

〔九州大学理学部〕

○講演会

- 11月18日 Prof. Philip Pincus (カリフォルニア大, サンタバーバラ)
“The Interaction between Polymers and Colloidal Particles”
- 11月29日 Prof. M. D. Whitmore (カナダ, Newfoundland 大)
“Equilibrium Theory of Block Copolymer and Homopolymer Blends”

○談話会

- 11月17日 沢田康次 (東北大通研)
「液晶における位相波と defect 乱流」

○セミナー

- 大学院集中講義: 沢田康次 (東北大通研)
11月15～17日 「非線形非平衡において形成される時間空間構造」

〔慶応義塾大学理工学部〕

○談話会

理論研コロキウム

- 11月21日 植田 毅 格子気体模型による結晶形のシミュレーション
桜井 亮 超微粒子の光吸収
- 11月28日 浮田昌一 強い場の量子電磁力学
小町谷昌宏 テクニカラーと強結合 QED
- 12月5日 大久保修一 多体系におけるトンネリングのモデル
吉村了行 複合粒子系の相対論的平均場近似による研究
- 12月12日 我妻浩幸 一次元準結晶モデルの電子状態
長尾辰哉 一次元準結晶モデルの電子状態
- 12月19日 後藤 健 ガラス転移のモード結合理論

物理教室談話会

- 9月21日 川合敏雄 非弾性衝突によるパターン形成 —惑星の輪に関連して—

- 10月21日 上原喜代治 EとHが平行な電磁波
11月9日 能勢修一 Rb Ca F₃ の構造相転移とソフトモード
12月21日 霜田光一 中性原子の羽根つき型レーザー冷却

〔北海道大学理学部〕

○ 談話会

- 11月30日 太田隆夫（お茶の水大・理）
「興奮場における局在パターン」
11月30日 小笠原武美（東北大・理）
「f 電子系の異常物性」

編集後記

最近、物性研究は、役に立つという何人かの若い読者に会いました。研究報告や集中講義録などは、当誌に掲載する意義は充分あります。若い人々に簡単にaccessできる情報という意味で、また印刷された資料として残るという意味です。しかし、集中講義録の多くは、京都在住の編集委員各氏の義務感からまとめてきたことが多く、これからは、他大学での講義録がほしいところです。有り難いことに、新年には、阪大の五十嵐地方委員氏の尽力で阪大での講義録が載る予定です。このように積極的に地方委員を引き受けてくださる方を望みます。

また、過去には、富田和久先生の退官記念講演が掲載されました。このような講演の記録は埋もれさせるには惜しいと思います。貴重な資料として残るわけで関連の方々には宜しく申し上げます。

さて今日は、平成元年初日。時代は我々をのみ込んだまま大きく動いていることを実感します。

☞ 謹賀新年 ☞

A. O.

物 性 研 究 第 51 卷第 3 号 (昭和 63 年 12 月号) 1988 年 12 月 20 日 発行

発行人 小 貫 明 〒 606 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒 606 京都市百万辺交叉点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒 606 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 15,600円

編集後記

最近、物性研究は、役に立つという何人かの若い読者に会いました。研究報告や集中講義録などは、当誌に掲載する意義は充分あります。若い人々に簡単にaccessできる情報という意味で、また印刷された資料として残るという意味です。しかし、集中講義録の多くは、京都在住の編集委員各氏の義務感からまとめてきたことが多く、これからは、他大学での講義録がほしいところです。有り難いことに、新年には、阪大の五十嵐地方委員氏の尽力で阪大での講義録が載る予定です。このように積極的に地方委員を引き受けてくださる方を望みます。

また、過去には、富田和久先生の退官記念講演が掲載されました。このような講演の記録は埋もれさせるには惜しいと思います。貴重な資料として残るわけで関連の方々には宜しく願います。

さて今日は、平成元年初日。時代は我々をのみ込んだまま大きく動いていることを実感します。

☞ 謹賀新年 ☞

A. O.

物 性 研 究 第 51 卷第 3 号 (昭和 63 年 12 月号) 1988 年 12 月 20 日 発行

発行人 小 貫 明 〒 606 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒 606 京都市百万辺交叉点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒 606 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 15,600円

会員規定

個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume (4月号～9月号)	4,200円
2nd volume (10月号～3月号)	4,200円
	計 8,400円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都1-5312) (現金書留は御遠慮下さい)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,300円、1 Vol. 7,800円、年間15,600円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

☎ (075)751-2111 内線7051 (075)722-3540(直通)

物 性 研 究 51—3 (12月号) 目 次

○Si, Geの熱物性への非調和効果東海林直美・加賀屋弘子・相馬 俊信.....	283
○アニメーション・システムについて榎本 美久・山中 謙一	293
○修士論文 (1987年度) 液晶の秩序化過程に於けるパターン形成.....長屋 智之.....	304
○プレプリント案内.....	342
○ニュース.....	346
○編集後記.....	348

物 性 研 究 51—3 (12月号) 目 次

○Si, Geの熱物性への非調和効果東海林直美・加賀屋弘子・相馬 俊信.....	283
○アニメーション・システムについて榎本 美久・山中 謙一	293
○修士論文 (1987年度) 液晶の秩序化過程に於けるパターン形成.....長屋 智之.....	304
○プレプリント案内.....	342
○ニュース.....	346
○編集後記.....	348